

生きがい

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二一八一

(☎四四一四八二六)



農業事始め

高齢者生きがい創造学園
生涯学習指導員 田坂 敏政

昨年、父が天国へと旅立ち、あらためて父の存在の大きさを思い知らされています。特に、二匹の犬の世話と田畑の管理は、思っていた以上に手がかりがあります。

現在、朝夕二回、散在している田畑の様子も見がてら愛犬の散歩をしています。私にとって、今一番、頭を悩ませているのは、農業です。特に、米作りは、父の手助けをしていた時とは違い、いざ自分ひとりで行ってみると、田植えの適期や植えつけ方法、水管理等とても大変です。「米」という字は、八十八の手間が必要で、手間をかけなければ美味しいお米はできないとよく言われていますが、その言葉を実感しています。

農業若葉マークの私は、田畑で会う地域の人たちからのアドバイスや長年父と共に働いてきた母の指導、インターネットや本から得た知識を結集し頑張っています。今年より遊休地だった畑を、水田と果樹園(ブルーベリー・イチジク)にしたり、コンニャクやソクネイモの栽培や、シイタケ栽培にもチャレンジしています。

5月の連休には、妻と茶摘みをし、手づくりの新茶を味わいプチ贅沢をしました。正直、大変ではありますが、田畑を耕し、自然に親しみながら、その中で、生きがいを見つけて生活していけたらどんなにか幸せだろうと思います。

今年の4月より、縁あって桜の美しい当学園にお世話になっております。玄関に入ったホールに、幻の詩人、「サミュエル・ウルマン」の「青春の詩」が掲げられています。この詩は、ウルマンが七十歳代で書いた詩です。その一節に「年を重ねただけでは人は老いない。理想を失うときに初めて老いが来る。歳月は皮膚のしわを増やすが、情熱を失う時に精神はしぼむ」とあります。皆様方の理想と情熱を益々高めることができるよう一緒に学んでいきたいと思えますのでよろしく願います。

日曜	1月	2火	3水	4木	5金	8月
午前	グラウンドゴルフ教室 墨友(書道) 山茶花(俳句) 桃山D(卓球) 亀池A(陶芸)	絵手紙教室 書硯(書道) ドルチェ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス) 亀池B(陶芸)	書心(書道) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) 亀池A(陶芸)	書龍(書道) サンシャイン(写真) 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球)	茶道教室 弥生(生け花) メヌエット(ピアノ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	ラージボール卓球教室 書楽(書道) あすなる(俳句) さくら(茶道)
午後	桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	高齢社会を賢く生きる 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)	シヨパン(ピアノ) ミニッツ(ハーモニカ) 3Bフリージア(体操) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	絵手紙あけぼの ベートヴェン(ピアノ)	山雄会(カラオケ) なごみ(茶道) 桃山A(卓球)	いずみ(短歌) 百描会(美術) ウッド(組み木) 桃山B(卓球)

新居浜市高齢者生きがい創造学園の歌



ゆったりと

みどりのあした ぎんいろに は えて こうしやが よんでいる
 ほほえみかわし かたりあい と もにま なびて きょうもまた
 じあいあふれる みちびきに ゆめもふくらみ きぼうわく

ひとみかがやき つどいくる うみ見 はる か す お～
 よきともがきの わきひろげ ひろせ ゆかり の お～
 たがいにこころ かよわせて いのち すこや か じゅ～

か ～ の う え わ れ ら が い き が
 か ～ の う え
 の ～ お か よ

い そ う ゼ う が く え ん

・この学園歌は平成八年、学園生から歌詞を公募し、
 当時の園長(故・大原勉)が作曲してできたものです。
 ・代表者会やグラウンドゴルフ大会等では、必ず歌わ
 れています。サークル活動時でも歌いましょう。

新居浜市高齢者
 生きがい創造学園の歌

一 緑の朝 銀色に
 映えて校舎が呼んでいる
 ひとみ輝きつどい来る
 内海見はるかす 丘の上
 われらが生きがい創造学園
 作詞 宇野 房子
 作曲 大原 勉

二 ほほえみ交わし語り合い
 共に学びて今日もまた
 よき友がきの輪を広げ
 広瀬ゆかりの 丘の上
 われらが生きがい創造学園

三 慈愛あふれる導きに
 夢もふくらみ希望わく
 たがいに心かよわせて
 生命すこやか寿の丘よ
 われらが生きがい創造学園

15	12	11	10	9	8	日
月	金	木	水	火	月	曜
コーラス教室 グラウンドゴルフ教室	趣味の料理教室 3B体操教室 ピアノ10 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	俳句教室 桃山D(卓球) 別子GG(ゴルフ) 街道をゆく ソナタ(ピアノ)	書道教室 写真教室 四季の組木教室 桃山C(卓球) ねこやなぎ(川柳) 広瀬GG(ゴルフ)	短歌みらい 絵手紙なでしこ みどり(茶道) エリーゼ(ピアノ) ミニッツ(ハーモニカ) ワルツ(ダンス) 別子GG(ゴルフ) 亀池B(陶芸)	桃山D(卓球) いとこのこ(組み木)	午前
桃山B(卓球)	山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球)	コーラスひろせ のこのこ(組み木) モーツァルト(ピアノ)	コンテニュー(ハーモニカ) 桃山B(卓球)	絵手紙はなみずき 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)		午後

自分さがし

(サークル 絵手紙うさぎ)

「ヘタでいい ヘタがいい」のキャッチフレーズにとびつき『絵手紙教室』に入会して五年目。少しは筆不精が直るかも……と、期待しての入会。残念ながら相変わらず筆無精のまま『下手』の世界からぬけだせないでいる。

下の絵は、入会初の作品。「これは、きゅうりです」と注釈を付けないと、何かわからないような絵なのだが、真剣にきゅうりに向かい、ドキドキしながら描いていったその当時は思い出される。

あれから数年経っているのだから「もう少しましなもの」という思いで描いてみるが、納得のいくものにならない。そこで練習をして、それから本番をと一枚描いてみる。確かに二枚目の方が形の整ったものになっている。でもそれ以上のものはない。

初めの方が生き生きとしていて心引かれる。和田静子先生が、さりげなく言ってお下さる言葉に心うたれる。「絵手紙は自分さがし」と。

私も、気落ちせず、これからも自分さがしの旅を続けよう!

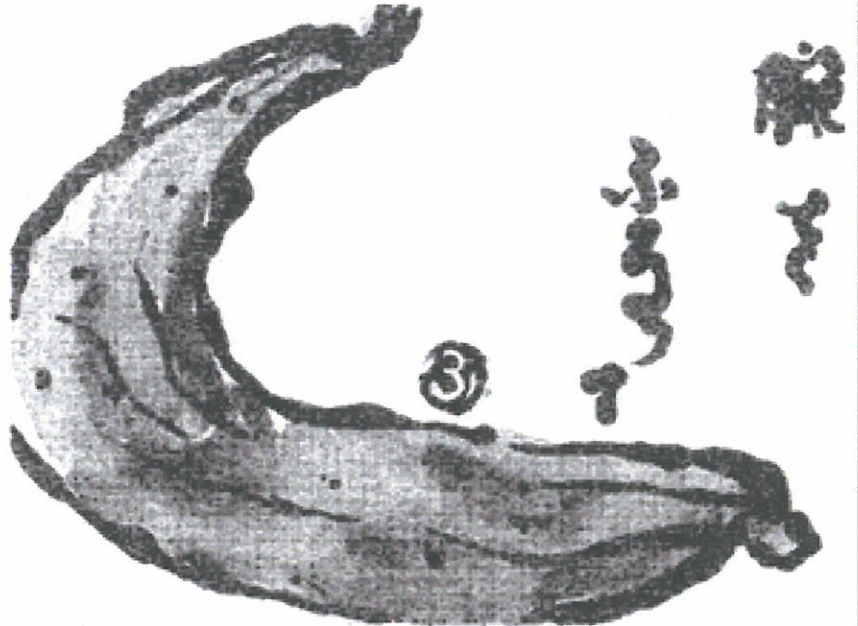
(角野 阪井 富規子)

水無月

雨がたくさん降る時季なのに「水の無い月」って変なのって思われますよね。

「水無月」の「無」は今の「の」にあたるもので「水の月」ということになります。

田植えが済み、田に水を張る必要があることから「水の月」→「水無月」と呼ばれるようになったようです。



22	19	18	17	16	15	日
月	金	木	水	火	月	曜
書楽(書道)	茶道教室 メヌエツト(ピアノ) さつき(生け花) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	郷土を歩く 書龍(書道) ウォークひうち(歩く) フレッシュ2009(歩く) やまびこ(歩く) 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球)	男の料理教室 書心(書道) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	家庭菜園教室 絵手紙教室 書硯(書道) ドルチェ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス) 亀池B(陶芸)	墨友(書道) 桃山D(卓球)	午前
百描会(美術) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	なごみ(茶道) 山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球)	ベートーヴェン(ピアノ)	陶芸教室 シヨパン(ピアノ) ミニッツ(ハーモニカ) 3Bフリージア(体操) 桃山A(卓球)	高齢社会を賢く生きる やながわ(川柳) 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)		午後

レッツ トライ!

(ピアノサークル ショパン)

年を重ねていくと、新しい事にチャレンジするのは、なかなか勇気がいります。

誰かに背中をドン!と押されないと、難しい事な事は、どうしてもしり込みしたくなります。もちろん、好きな事は別ですが。

さて、そんな私が、ひよんなきっかけでピアノサークルに入りはや十年余り。

なんとかここまで続けて来れたのも、高橋千代先生の魅力と、サークルの皆さんの温かい雰囲気のおかげだと思っています。

新曲にチャレンジする時は、ワクワク・ドキドキします。少しずつ曲になっていくときのあの達成感。だけど、難し過ぎて仕上がらなかつた曲もたくさんありました。

それでも、先生の気長い御指導のもと、なんとか、一曲自分なりに弾けるようになった時は、本当に嬉しいのです。いろいろな事に気をつけながら弾くのは本当に大変ですが、「継続は力なり」と云う言葉を信じて、これからも続けて行きたいです。

ところで余談ですが、今年には密かにスマホにチャレンジしようと思っています。

(高津 鈴木 陽子)



ピアノサークル ショパン
レッスン風景
写真提供 鈴木陽子さん

第27回愛媛県協会 グラウンドゴルフ大会

開催日 平成27年5月3日
場所 愛媛県立運動公園園球技場

団体 準優勝 別子Aチーム

- 183打/2R
- 星加多美子 原 義夫
 - 矢野 幸治 白石 泰啓
 - 薦田 明世
- 個人 (女性) 第二位 サークル別子GG
星加多美子

日	22	23	24	25	26	29	30
曜	月	火	水	木	金	月	火
午前	亀池A (陶芸) さくら (茶道) ウツド (組み木) 桃山D (卓球)	みどり (茶道) エリーゼ (ピアノ) ミニッツ (ハーモニカ) 絵手紙うさぎ 別子GG (ゴルフ) ワルツ (ダンス)	書道教室 ハーモニカ教室 クロワッサン 広瀬GG (ゴルフ) 桃山C (卓球) 亀池A (陶芸)	書峰 (書道) ソナタ (ピアノ) 別子GG (ゴルフ) 桃山D (卓球) 亀池B (陶芸)	ピアノ10 広瀬GG (ゴルフ) 桃山C (卓球)	墨友 (書道) のこのこ (組み木) 桃山D (卓球)	別子GG (ゴルフ) 亀池A (陶芸)
午後		絵手紙 (すみれ) 桃山A (卓球)	コンテニュー (ハーモニカ) 桃山B (卓球) 亀池A (陶芸)	モーツァルト (ピアノ) コーラスひろせ 亀池B (陶芸)	山雄会 (カラオケ) 桃山A (卓球)	桃山B (卓球)	桃山A (卓球)

一期一会

(茶道サークル さくら)

「座る位置がおかしいよ。畳四目が体の中心にきているか、もう一度数えて」と、金村宗祐先生の声。誰が注意されているんだろうと思いつつ、先生の方に目をやると、なんと、私を見ています。しかも、広い教室の一番遠い場所から「えっえ！私？」ただただびっくり。その日は、二つのグループにわかれての稽古でした。私は先生から離れたグループだったので、見られていないと油断していたのです。

またある時は、生徒同士でコソコソ教え合っている。「わからない事は、直接私に聞いて。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥というでしょう」と、指摘していただきました。

そう、もうおわかりでしょう。先生は、千里眼・飛耳・長目の能力の持ち主なのです。この事は、茶道サークルの中では、公然の秘密になっています。

私は、退職したら是非お茶を習おうと、ずっと以前から決めていました。ですから申し込んだ講座は茶道だけでした。その茶道で、敬愛する先生に出会う事ができました。まだまだヒョッコの私ですが、勇将の下に弱卒なしと言われるよう、頑張つてついていこうと思います。

(中萩 武智 仁美)

サークル活動に参加して

参加して

(卓球サークル 桃山A)

生涯学習のラージボール卓球教室を平成25年に受講して、翌年にサークル桃山Aに入会させて頂き、火曜日と金曜日の週2回練習をさせて頂いています。

若い頃からいろいろなスポーツの経験はあまり多くはないので、卓球というものは手軽な室内競技で、大人から子供まで誰でもが楽しめる為、とつきやすく、一見、やさしいスポーツのように思っていました。が、いろいろな技術的な打ち方を勉強しようと思えば、これほど奥の深いスポーツも珍しいのではと思います。

現代はコンピュータの時代といわれ、複雑でち密な頭脳が要求されていますが、考えてみれば卓球というスポーツは、まさに現代そのものです。

体力や腕力を必要とする力の競技に比べて、卓球は技のスポーツでありその技にもいろいろな要素が含まれています。ラージボールの球は非常に軽く、ラケット操作で、変幻自在な動きを見せますので、相手が打った瞬間に打球のコース、打球の速さ、回転の種類を考えて、どのように打ち返せばいいのかを、いろいろと経験を積み重ねて根気よく継続してやっていると、かたはと思っています。

一年間の内には定期的な試合等もあり、適度な緊張感もあり、心身ともに活性化して健康維持推進に役立つ最適なスポーツだと思います。卓球の練習を楽しみながら活動していきたいと思えますので、サークルの皆さん今後ともよろしくお願い致します。

(中萩 藤坂 幹雄)

感動を求めて

(美術サークル 百描会)

学生時代から、四十数年間一度も絵筆を持つ事なく過ごしてきました。

そんな私がたまたま学園の階段を通りかかったのがご縁で美術サークルの百描会に入る事になりました。

不安いっぱいスタートでしたが、講師の松谷義信先生に水彩画の基礎を親切丁寧に御指導して頂き、又先輩・同期の仲間達の温かい励ましでなんとか今年で四年目を迎える事ができました。

まだまだ未熟で、背景の処理にいつも苦心しています。先生のアドバイスをなしでは中々一枚の絵になりませんが、描き終えた時に喜びを感じます。

移り変わる自然の風景、四季折々の美しい草花、感動する絵画などに、常日頃から接し、感性を磨く事が大切だと思います。

これからも、再びの青春を、好きなモチーフをつみ重ねマイペースで描き続けたいと思います。

そして、今よりも一人での多く絵を愛する仲間が増える様願っています。

人から神から 美、希望、よろこび、
勇氣、力の靈感を受けるかぎり、
君は若い。

サミュエル・ウルマンから

(多喜浜 小野 妙子)

俳句集「秋桜」の

作成について

(俳句サークル 山茶花)
 これまで理系一筋の人生で、俳句など、文系に関わることに時間を割く機会は皆無でした。

大学の工学部を卒業後、昭和三十年、住友化学に就職し、新居浜工場を振り出しに、本社、東海村(原子力)での勤務に加え、ドイツやブラジルにおける海外勤務も経験するなど、約五十年のサラリーマン生活を製造現場や技術部門などの業務に専心してきました。

平成十五年、すべての仕事を卒業し、何か趣味を持つととて考え、試みに俳句の勉強を始めました。幸い、阪上史琅先生のご指導のおかげで、徐々に俳句の面白みがわかるようになり、早いもので同人誌『七曜』への投稿も約十年になります。

八十路に入り、何か子供や孫たちに残したいと考え、自作の俳誌「秋桜」を作ることを思いつきました。

内容は日常生活を詠んだものが殆んどですが、夫婦で行った約四十ヶ国の海外旅行の思い出、さらに五年前から始まった癌との闘いを題材にしたものも自然と多くなりました。今後も命の続く限り、俳句を継続したいと思っています。

(船木 大山 房夫)

学園歌壇

サークル「短歌みらい」

結納のスルメ食べたる野良猫はいづくから来しか我が家離れず
 坂田 純子
 秋草のなだれ咲きたる道端のくぼみ
 の水に映る
 松本美智子
 青空
 15の春金の卵と言われたり古希を迎えし今も青春
 馬木由利子

サークル「いずみ」

宮古島バスのガイドの初美さん三線ひきて「ユンタ」を歌う
 金子由美子
 ガザニアの茎逞しく伸びてゆき土をはみ出しコ
 ンクリの上
 谷永 順子
 病床の子規が眺めた庭に立つ陽はおだやかに風
 はやさしく
 神野優津子

学園柳壇

サークル「やながわ」

カーテンはレースもあれば鉄もある
 河端 輝満
 老いの坂下った先に虹がある
 合田 修身
 夢の糸ともに紡いだ五十年
 竹内 信夫

サークル「ねこやなぎ」

励ましの言葉に感謝友の愛
 浮川 良美
 葉桜もまたよし今日も皆笑顔
 岡田 文子
 冗談の通じぬ人に肩が凝り
 加藤 忠吉

先ず撫でてみた千の風モニュメント
 講師 井原みつ子

学園俳壇

サークル「あすなる」

初桜利き酒に寄る蔵開き
 真田 靖枝
 ヒヤシンス接骨院の杖置き場
 逢坂 繁子
 夕焼くる菜の花盛りの遊歩道
 那須口 静子

サークル「山茶花」

暖かや寺の仏像ほほ笑めり
 大山 房夫
 若葉光展望台への径せまし
 林 義廣
 金の葉をこぼしてやまぬ竹の秋
 近藤 静

石垣だけ残る古城に遠足来る
 木の芽風大学街の並木道
 貧寺なれど牡丹百株いま盛り

講師 阪上 史琅

◇ご恵贈お礼◇

◎ロビー生け花 五月度 鴻上 美智甫 様 (講師)
 ◎川柳にいはま 五月号 にいはま川柳会 様

◇今月のロビー展◇

(六月一日〜六月三十日)
 サンシャイン (写真)
 組み木グループ (組み木)
 *七月の予定

書峰 (書道)
 書心 (書道)